

### 実技模擬問題 3

#### 【問題】

株式会社Cの第5期（平成29年10月1日～平成30年9月30日）の実績会計データ、平成29年10月の部門別営業損益計算書および下記の資料にもとづいて、平成29年11月の部門別営業損益計算書を完成させなさい。

また、平成29年10月、11月の部門別営業損益計算書について、次の各問に答えなさい。

- (1) 11月のコンサルティング部門の売上総利益が10月より大きく増加したのはなぜですか。
- (2) 人件費の部門共通費の負担割合が大きいのは、物品販売部門とコンサルティング部門のどちらですか。また、それはなぜですか。
- (3) 広告宣伝費の部門共通費配賦率が10月と11月で大きく変動したのはなぜですか。
- (4) その他の経費の部門共通費配賦率が10月と11月で大きく変動したのはなぜですか。
- (5) 株式会社Cが採用している部門共通費の配賦方法の問題点を指摘しなさい。

#### <資料>

##### 1. 概要

当社は、雑貨品の卸売業を営むとともに、小売店の出店や経営戦略についてのコンサルティングを行っている。そこで、部門別の損益を集計するために、会計ソフトに物品販売部門とコンサルティング部門の2つの部門を設定している。また、部門共通費は、部門別営業損益計算書において、下記2の方法により各部門に配賦して、部門別営業損益を算定している。

##### 2. 部門共通費の配賦方法

部門共通費の配賦方法は、次のとおりである。

費 目	配賦方法
人 件 費	各月の給料手当の部門個別費の比率により配賦
広 告 宣 伝 費	各月の売上高の比率により配賦
その他の経費	各月のその他の経費の部門個別費の合計額の比率により配賦

##### 3. その他の事項

- (1) 消費税については、税抜経理方式を採用している。
- (2) 上記以外の事項については、実績会計データから判断すること。なお、実績会計データの摘要に「(臨時的なもの)」という記述があるものは、通常月には発生しないものであり、その他のものは経常的に発生するものである。
- (3) 部門別営業損益計算書では、物品販売部門及びコンサルティング部門を、それぞれ「物販部門」、「コンサル部門」あるいは単に「物販」、「コンサル」と表記している。

- (4) 物品販売部門の配賦率にパーセント未満の端数が生じた場合には、その端数は四捨五入する。コンサルティング部門の配賦率は、100%から物品販売部門の配賦率を控除して算定するものとする。
- (5) 物品販売部門の配賦額に1円未満の端数が生じた場合には、その端数は四捨五入する。コンサルティング部門の配賦額は、部門共通費から物品販売部門の配賦額を控除して算定するものとする。

<参考> 部門別営業損益計算書 (平成29年10月)

株式会社C

**部門別営業損益計算書**  
(平成29年10月)

第5期

(単位:円)

勘定科目	共通費配賦前				配賦基準	配賦率		共通費配賦後	
	合計	物販部門	コンサル部門	部門共通費		物販	コンサル	物販部門	コンサル部門
売上高	8,900,000	6,586,000	2,314,000					6,586,000	2,314,000
売上原価	4,365,000	4,365,000	0					4,365,000	0
売上総利益	4,535,000	2,221,000	2,314,000					2,221,000	2,314,000
人件費	役員報酬	600,000	0	600,000	当月給料手当 の部門個別費	37%	63%	222,000	378,000
	給料手当	2,010,000	658,600	1,121,400				743,700	1,266,300
	法定福利費	392,800	0	392,800				145,336	247,464
	小計	3,002,800	658,600	1,121,400				1,111,036	1,891,764
広告宣伝費	1,103,000	0	0	1,103,000	当月売上高	74%	26%	816,220	286,780
その他の経費	旅費交通費	732,300	112,100	565,200	その他の経費 の部門個別費 の当月合計額	28%	72%	127,500	604,800
	通信費	390,000	0	390,000				109,200	280,800
	消耗品費	167,100	34,300	22,800				65,100	102,000
	水道光熱費	82,000	0	82,000				22,960	59,040
	支払手数料	117,200	6,600	110,600				37,568	79,632
	減価償却費	81,600	57,100	8,100				61,692	19,908
	雑費	78,800	22,300	1,500				37,700	41,100
	小計	1,649,000	232,400	597,600				461,720	1,187,280
販管費計	5,754,800	891,000	1,719,000	3,144,800				2,388,976	3,365,824
営業損益	-1,219,800	1,330,000	595,000	-3,144,800				-167,976	-1,051,824

<部門別営業損益計算書（平成 29 年 11 月）>

株式会社C

部門別営業損益計算書

（平成29年11月）

第5期

（単位：円）

勘定科目	共通費配賦前				配賦基準	配賦率		共通費配賦後	
	合計	物販部門	コンサル部門	部門共通費		物販	コンサル	物販部門	コンサル部門
売上高									
売上原価									
売上総利益									
人件費	役員報酬				当月給料手当 の部門個別費				
	給料手当								
	法定福利費								
	小計								
広告宣伝費					当月売上高				
その他の経費	旅費交通費				その他の経費 の部門個別費 の当月合計額				
	通信費								
	消耗品費								
	水道光熱費								
	支払手数料								
	減価償却費								
	雑費								
	小計								
販管費計									
営業損益									